

指 定 管 理 者 評 価 表

施 設 名	山陽小野田市きららガラス未来館					
指 定 管 理 者	小野田ガラス株式会社					
指 定 期 間	自	R6.4.1	至	R11.3.31	指 定 期 間	5.0 年
評 価 対 象 年 度	令和6年度				施 設 所 管 課	文化スポーツ推進課
指 定 管 理 料	37,550,000円			税別	評 価 年 月 日	R7.6.18
利 用 料 金 制 度	有				ア ン ケ ー ト	実施
選 定 方 法	単独指定					

I サービス履行の確認

項 目		1次	2次	コメント欄
管理運営の状況	開館日数及び開館時間は適切か	3	3	開館日数及び開館時間について適切である。
	保守管理業務は適切に行われたか	3	3	委託先と職員で適切に管理している。
	清掃業務は適切に行われたか	3	3	委託業者に週2回、その他、職員により随時実施。
	保安警備業務は適切に行われたか	3	3	夜間、休館日は委託先機械警備、その他本社保安対策室の指導による意識向上に努めている。
	外構や植栽等の管理は適切に行われたか	3	3	除草、植栽の剪定を随時実施している。
	事故、苦情及び緊急時の対応は適切であったか	3	3	事故、苦情は無いが職員間で警備会社との連絡体制を共有している。
	事故、苦情及び緊急時の市への連絡は適切であったか	3	3	随時、適正に、かつ早急に連絡をとるように体制を整えている。
	感染症対策等の衛生管理は適切に行われたか	3	3	本社指導の下、職員の健康状態管理を実施するとともに、来館者には必ず手指の消毒を実施するなど適正に管理している。
	個人情報の管理は適切か	3	3	適正に管理している。
	現金の管理は適切か	3	3	本社主導の経理監査を実施している。
	減免申請に対する取扱いは適正か	－	－	該当なし
	修繕は適切に行われたか	3	3	適正に実施し、長寿命化に努めている。
	備品や文書の管理は適切に行われたか	3	3	適切に管理している。
	各種報告書等は遅滞なく提出されたか	3	3	適切に対応している。
人員配置等	人員配置は適切か	3	3	別①に詳細を記入してください
	必要な有資格者は適切に配置されているか	3	3	適切に配置されている。
	労働法令の遵守や雇用・労働条件は適切か	3	3	本社総務部主導で適切な環境を維持している。
	職員の資質向上を図る取組(職員研修)は適切に行われたか	3	3	電話対応研修等の館内で随時実施した。

II サービスの質の評価

項 目		1次	2次	コメント欄
事業実施	事業計画どおりに事業が実施されたか	3	1	とんぼ玉制作体験が事業計画どおりに実施されていない。この部分を除き、事業計画どおりである。
	施設の設置目的に沿った自主事業を行ったか	3	3	イベントと連動したガラス作品の展示、販売を行う等設置目的に沿った事業を行った。
サービス向上	アンケート等により利用者ニーズの把握に努めているか	3	3	アンケート等により利用者ニーズの把握を行っている。
	利用者の苦情・要望を反映させる取組を行っているか	3	3	要望には可能な範囲で反映している。
	接客態度は良いか	3	3	アンケート結果からも来館者がとても満足していることが分かり、質の高い接客サービスの提供がうかがえる。
	特定の利用者を有利又は不利に扱っていないか	3	3	扱っていない。
	HP等による広報活動は効果的に行われたか	7	7	HPやチラシ、メディア・SNS等がきっかけで来館された方がアンケート結果の半数を占め、広報活動の効果が出ている。
	利用者の満足度は高いか	7	7	アンケート結果から、「とても満足」と回答された方が全体の約8割と高く、利用者は非常に満足している。
	利用者サービスの向上を図る取組は行われたか	7	7	体験者の年齢やニーズに合わせた内容を提供している。
利用状況	利用状況はどうか(前年及び計画との比較)			別②に詳細を記入してください
	利用者増加のための取組をしたか	7	7	出張体験やHPでガラス体験の魅力を発信し、毎年利用者のニーズに応じた事業を実施している。

III サービスの安定性の評価

項 目		1次	2次	コメント欄
収支状況	収入の状況はどうか(前年及び計画との比較)			別③に詳細を記入してください
	支出の状況はどうか(前年及び計画との比較)			
	収入増加の取組は行われたか	7	7	出張体験を積極的に行うことで体験者確保に努めた。
	経費節減の取組は行われたか	7	7	ガスメーターチェック、空調使用時間等、常に心掛けている。

施設所管課で記入してください

別① 人員配置について

前年度	(R5) 合計8名 館長(1)、運営・技術スタッフ(3)、アルバイト・パート(2)、講師(2)
計 画	(R6) 合計8名 館長(1)、運営・技術スタッフ(4)、講師(2)、事務スタッフ(1)
実 績	(R6) 合計9名 館長(1)、運営・技術スタッフ(4)、講師(1)、事務スタッフ(1)、派遣スタッフ(2)

別② 利用状況について

内 訳	R4 実績	R5 実績	R6 計画	R6 実績	対前年比	評価
体験者数(講座)	0	0	210	79	－	
体験者数(体験)	5,326	4,669	4,640	4,690	0.4%	
レンタル工房	75	78	80	308	294.9%	
						利用評価
						3
合 計	5,401	4,747	4,930	5,077	7.0%	

別③ 収入状況について

内 訳	R4 実績	R5 実績	R6 計画	R6 実績	対前年比	評価
指定管理料	29,960,000	29,960,000	37,550,000	37,550,000	25.3%	
講座	0	0	990,000	316,000	－	
体験	6,037,297	5,197,869	6,947,500	6,198,744	19.3%	
その他雑収入、営業外収入	3,458,251	3,290,234	1,953,250	3,100,488	▲ 5.8%	収入評価
レンタル工房・貸館	375,000	428,572	400,000	746,870	74.3%	3
合 計	39,830,548	38,876,675	47,840,750	47,912,102	23.2%	

別③ 支出状況について

内 訳	R4 実績	R5 実績	R6 計画	R6 実績	対前年比	評価
人件費	15,198,307	12,622,529	23,222,000	26,611,531	110.8%	
管理費	25,218,762	26,060,750	24,793,750	20,468,748	▲ 21.5%	
						支出評価
						2
合 計	40,417,069	38,683,279	48,015,750	47,080,279	21.7%	

総合評価
117 /124